

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公開番号】特開2000-119967(P2000-119967A)

【公開日】平成12年4月25日(2000.4.25)

【出願番号】特願平10-285415

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/263 (2006.01)

A 6 1 F 7/02 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 L 15/16 (2006.01)

C 0 8 F 20/04 (2006.01)

【F I】

D 0 6 M 15/263

A 6 1 F 7/02 L

A 6 1 F 13/00 3 0 1 M

A 6 1 L 15/01

C 0 8 F 20/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

縫製され又は接着された織物製品であり、吸収性の架橋ポリアクリル酸ナトリウムからなるポリマー粒子を含有することを特徴とする織物製品。

【請求項2】

ポリマー粒子は、そのコア内よりもその表面がより架橋されていることを特徴とする請求項1記載の織物製品。

【請求項3】

織物袋に入った超吸収ポリマー粒子で作られ、吸収した水の脱吸収によって冷却効果が生じる、皮膚に適用するための冷却用圧迫ガーゼの形態の織物製品であって、前記ポリマーがポリアクリル酸ナトリウムを主成分とするものであり、前記粒子が、乾燥状態において30から1500 μm の間のサイズの、表面が平滑な円球状の形態であり、前記ポリマーがコアにおけるよりも表面でより架橋されていて、これにより、前記粒子の変形可能性がほんのわずかであり、吸収された水が完全には前記粒子内に捕捉されず、高い熱不感応性と持続力のある冷却効果をもたらす水の蒸発とに有利となる、織物製品。

【請求項4】

該製品が10℃で水中に浸漬された後、それが0.30℃/分から0.9℃/分の間、好ましくは0.35℃/分から0.7℃/分の間の加熱摂取を有することを特徴とする請求項1記載の織物製品。

【請求項5】

0.4℃/分の平均加熱摂取を有することを特徴とする請求項4記載の織物製品。

【請求項6】

外傷性術後の処置のため及び一般的な外傷学のために意図された医療用圧迫ガーゼの作

製のために請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の織物製品を用いることを特徴とする使用。

【請求項 7】

血液循環の病理学的な治療のために意図される医療用圧迫ガーゼの作製のために請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の織物製品を用いることを特徴とする使用。

【請求項 8】

乳児の高体温の治療のために意図される医療用圧迫ガーゼの作製のために請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の織物製品を用いることを特徴とする使用。

【請求項 9】

炎症性疾患、特に腹の又は歯の術後の疾患の治療、及び一般的な痛みの治療のために意図される医療用圧迫ガーゼの作製のために請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の織物製品を用いることを特徴とする使用。

【請求項 10】

金属加工業において、製鋼業において又は消防士のための、高温に対して人体の保護の目的のために人体の胴の上に被着させることを意図したジャケットの作製のために請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の織物製品を用いることを特徴とする使用。